



ゆめアップ 豊川っ子



令和2年度 第18号 2020.6.19

ふるさとを大切に作る心を育む ～ 40年目の円満造甚句踊り ～

児童玄関の上部には“円満造甚句踊り”を型どった大きなレリーフが掲げられています。本校の歴史をひもといてみると、昭和55年から“円満造甚句踊り”の活動が取り入れられていました。ふるさとの伝統を守る心を育もうと、40年前に本校に勤務されていた黒澤タエ子先生が指導を始めたとのことです。レリーフに象徴されるように“円満造甚句踊り”の活動は、全校で年間を通じて行う伝承活動として、本校のふるさと教育を進めていく上で欠かせない活動になっています。



【児童玄関上部のレリーフ】

今週6月16日～18日の3日間、円満造甚句保存会の黒澤タエ子先生、草薨恵子さん、高橋るり子さん、高川富士子さん、草薨普さんをお迎えして1～3年生の練習会を行いました。易しいとはいえない踊りにもかかわらず一生懸命覚えようとする1年生、自信をもって笑顔で踊る2年生、上手に踊れるよう細部にわたって気を配

ろうとする3年生の子どもの姿をみることができました。これも本校の歴史に刻まれてきた地域の力があってこそそのものと感謝申し上げます。来週は4～6年生の練習会を実施予定しています。



【黒澤先生のお話】



【はりきって練習】

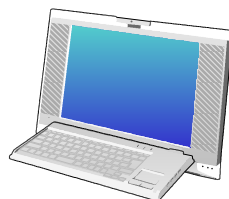
第1回 がまんネット チャレンジ

5月に「中仙地区 家庭学習推進のてびき」を配布しましたが、その中に生活習慣確立のための取り組みとして“「がまんネット」家族で会話”があります。

そこで、6月21日（日）～23日（火）の三日間、中仙地区小中学校全体で今年度1回目の「がまんネットチャレンジ」を行うこととなりました。

ご家庭で適切なメディア利用のルールを決め、お子さんの状況を見届けることが大切です。また、子どもにとっては時間を有効に使うことの意識付けになる面もあります。他では臨時休校期間にネットゲーム等を長時間行ってしまう、生活リズムを取り戻すまで大変だった子どもの例もあることを聞きました。

今回の取り組みの詳しいことは、本日配布された「ほげんだより」をご覧ください。ご家庭での取り組みをよろしくお願いします。



児童会テーマを掲示



5月末に決まった児童会テーマを“ワクワクキラキラ豊川っ子運営委員会”の皆さんが作成し、第1ホールに上部に掲示しました。子どもたちの様々な活動を通じて、豊川小のゴールがよりよくなるように皆で頑張りたいです。

